

2021 WINTER

ダルニー通信

vol. 89

特集

コロナ禍における 支援のかたち



- 2p… 新型コロナウイルス感染症の影響（タイ）
- 3p… コロナ禍でも支援をあきらめない！
市立札幌清田高校の挑戦
- 4~5p… 新評議員と新理事の紹介
- 6p… クラウドファンディングサイトリリース
- 7p… ウォータープロジェクト
- 8p… 連載② 遺贈寄付について
- 9p… ベトナム奨学生からの手紙
- 10p… 連載③ メコン5カ国現地スタッフ紹介
- 11p… 連載③ 今は昔「民際センター物語」

新型コロナウイルス 感染症の影響（タイ）

民際センターが支援するメコン5カ国でも新型コロナウイルス感染症の影響が経済に及び、都市に出稼ぎに出ていた労働者たちは職を失い地元に帰り、不安定な生活を送っています。そのような状況の中で母親が仕事を失ったタイの生徒を紹介します。

セッタウット・シンマー（ニックネーム：アイウン）

タイの東北部マハサラカーム県で暮らす小学6年生（13歳）のアイウンはダルニー奨学金支援を望んでいる生徒の一人です。彼は母親、祖母、叔母と暮らしています。幼い頃に両親は離婚し、母親が彼を養い育ててきました。母親は農作業と日雇い労働の仕事を掛け持ちしていましたが収入が不安定で、息子の中學と高校への進学費用を稼ぐため、2017年からバンコクに出稼ぎに出ました。

スワンナプーム国際空港の機内清掃員をし、飛行機の客室、キッチン、トイレの清掃を担当しました。給料は日本円で約26,000円／月で、観光シーズンになると飛行機の運航が増えるため、残業代も出ました。毎月得た給料を母親は仕送りし、家計を支えていました。

しかし、2020年に新型コロナウイルスが蔓延し国境が閉鎖され、飛行機の運航もストップしました。その結果、数百人の機内清掃員が解雇され、母親も実家に戻ってきました。

現在、母親は地元で農作業や日雇い労働をして収入を得ています。中学生になる息子のために、制服、靴、文房具を買いたいと思っていますが、収入は日本円で5,000円／月程度です。

アイウンは学校が長期休暇になると早起きし、牛の世話や畑の水やりをし、母親に草刈りやジャガイモ栽培の日雇い労働が入れば、一緒に出かけて手伝います。また、毎晩、料理や皿洗いなどの家事も手伝います。

母の仕事は、昔に比べ体力的に大変なのに収入は減っています。母が疲れている姿を見たくないの、できる限り手伝っています。僕は理科が好きです。将来は兵士になりたいと思っています。奨学金がもらえたなら、まず制服と文房具を買い、残りは貯金し学校に通うための費用として賢く使いたいと思います



コロナ禍でも支援をあきらめない！ 市立札幌清田高校の挑戦

札幌市清田区の市立札幌清田高校は、1974年に創立し、学校教育の目標に「すべてのことにはなぜと問い合わせ、きわめ確かめる生徒であれ」を掲げる単位制の進学校です。学業のほか、合唱部、美術部などの文化部の活動も盛んですが、野球部、ラグビー部やサッカーチームなどの運動部も活躍しています。

民際センターの支援を始めたのは2016年。札幌清田高校のグローバルコース2年の「国際協力」の授業では、フェアトレードについて学習し、学校祭で販売する途上国の製品を適正な価格で販売し、その収入で毎年カンボジアの子どもたちへの「ダルニー奨学金」寄付を行ってきました。しかし、昨年は、新型コロナウイルス感染症予防のため学校祭は中止。

さらに、希望者が参加するカンボジアでのボランティア活動も中止。そのような状況でも経済的な理由で教育の機会に恵まれないカンボジアの子どもたちへの応援を欠かしたくないと生徒の皆様は議論を重ね、民際センターが「書き損じはがき収集」を行っていることを知り『葉書、もらってもイイですか？』



校内に置いた収集箱とポスター



回覧板に入れたチラシ

プロジェクトを立ち上げました。学校内では、他学年にも「ダルニー奨学金」に関するプレゼンテーションを行ったほか、収集箱やポスターを作成し、地域の方々が集まる公民館にも置きました。さらに地域の回覧板にチラシを入れ、地域の方も巻き込んではがき収集活動を繰り広げたのです。

その結果、学校の内外から3,700枚を超える書き損じはがきと未使用切手を集め、2021年11月からカンボジアの中学校1年生3人（卒業まで）と中学校3年生2名（1年のみ）が、学校に通えることになりました。（カンボジアは11月が入学、進級時期となります。）この子どもたちは、支援がなければ学校に通うことはできませんでした。プロジェクトリーダーを務める生徒様は「このように沢山のはがきが集まるとは思いませんでした。協力していただいた方へは感謝の気持ちでいっぱいです。」と話しました。

葉書、もらってもイイですか？	
清田高校 2年 グローバルコース	
私たちグローバルコースは昨年より、国際協力の授業の一環として、書き損じ葉書を集め、貧困による教育を受けられない発展途上国の中学生を支援するシステム「ダルニー奨学金」に寄付するという活動を行ってきました。その結果を報告させていただきます。	
枚数(枚)	金額(円)
葉書	3732
切手	3,888
合計	214,137
葉書400枚で1人を1年間学校に通わせてあげることができます。今回はカンボジアの中学生3人に3年間分の支援をすることになりました。	
たくさんのご協力、本当にありがとうございました！	

協力いただいた方へのお礼状

コロナ禍で、「なぜ支援をあきらめなければならないか」と問い合わせ、工夫を重ねその解決策を模索し実現する市立札幌清田高校の校風、そしてなによりも、活動をした生徒の皆様に敬意を表したいと思います。民際センターは、その想いを確実に、責任をもってカンボジアの子どもたちに届けます。

新評議員と新理事の紹介

2021年6月の評議員会より新評議員2名と新理事2名の方が就任しました。今回はその方々の紹介をいたします。

新評議員 真田 正明（文筆家、元朝日新聞論説副主幹）

中学生の頃、夏休みの自由研究にマレーシアを取り上げたことがあります。その頃から、東南アジアに興味がありました。1980年に朝日新聞に入社し、国連PKOのもとで内戦後の総選挙に臨むカンボジアに92年から94年まで赴任しました。その後、2001年から05年までインドネシアとタイで特派員をしました。その間、東ティモールの独立やアフガン戦争なども取材しました。帰国後もアジア取材のまとめ役などをしていましたが、08年から論説委員室に移り、夕刊のコラム「素粒子」を7年半執筆するなどしました。

秋尾晃正理事長とは、ダルニー奨学金制度ができて間もない頃に、記事にさせていただいて以来のお付き合いです。2021年春に朝日新聞を退社するご挨拶を送ったところ、評議員のお話をいただきました。現在も日本記者クラブの会員として、国際問題や時事問題への関心は持ち続けています。お役に立てれば幸いです。



新評議員 浅見 靖仁（法政大学法学部国際政治学科教授）



1985年から89年までタイのタマサート大学に留学していた時に、通訳としてタイのNGOの活動を手伝ったりしていました。ちょうどその頃ダルニー奨学金を立ち上げようとしていた秋尾さんともタイで何度かお会いしました。一昨年30年ぶりに再会する機会があり、今年4月にまたお会いした際には、評議員への就任を依頼されました。ダルニー奨学金の初期の運営には、私のタイ人の友人たちも関わっていましたので、お引き受けすることにしました。

東南アジア諸国の政治経済を専門にしており、コロナ禍になるまでは毎年2~3か月に1回のペースで東南アジアを訪問していました。最近さらに変化が加速している東南アジアにおいて、民際センターの活動は今後どうあるべきかについて皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

新理事 松田 篤（行政書士・専門学校講師（公法））

中学・高校生の頃、東南アジア諸国における里親活動をさせていただいた経験から、将来、漠然ですが、学生時代のボランティア活動に携われたらと考えておりました。というのも、祖父は、立命館大学で教鞭を執っていましたが、先の戦争で東南アジアに出征し、そのまま戦死してしまったのですが、現地の子ども達を傍目に、教育に憂いながら亡くなつたと思うのです。そのため、私自身で何かできる事はないかと頭の片隅に思っておりました。このようなことから、この度、民際センターのお話を伺い、自分の経験が少しでもお役に立てればと思い理事をお引き受けいたしました。ダルニー奨学金をはじめとした様々な支援活動がある中で、キーの一つにドナーの方々の継続的獲得があると思います。行政書士として、また後見活動をしてきた経験から、ドナーの方々の発展的獲得に寄与できるよう、微力ながら務めさせていただきたいと思っております。現在、ボランティア活動として、高齢者の後見活動や障害児の施設運営にも携わらせていただいております。



新理事 松葉 健(弁護士法人まつば法律事務所 代表弁護士)



私は東京ライオンズクラブに所属しており、同クラブのメンバーとしてミアンマーの小中学校を実際に訪問してパソコンを寄贈する機会がありました。現地の生徒と直接交流する中で、ダルニー奨学金をはじめとする教育支援活動の重要性をあらためて実感するとともに、民際センターにて行われている支援活動の大切さを再認識しました。「民際センターの活動に貢献できるのであれば、できる限りの協力をていきたい」という思いでおりましたので、民際センターの理事就任を喜んでお引き受けさせていただきました。

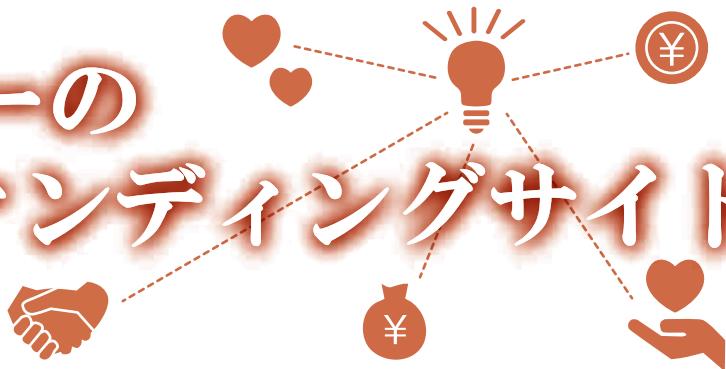
私の職業は弁護士であり、民際センターでは遺贈寄付専門委員をさせていただいております。「世界の子どもたちの将来のために遺産の全部または一部を寄付したいと考えているが、自身の意向に沿うようにきちんと寄付してもらえるか分からぬ」などの不安を抱えておられる支援者の皆様に安心して遺贈寄付をしてもらえるよう、遺贈に関する手続等を気軽に相談していただける仕組みや枠組みを構築していきたいと考えております。

代表理事	秋尾 晃正	公益財団法人民際センター 理事長
理事	赤石 隆夫	医学博士・新潟大学医学部総合医学教育センター
阿部 紘士	デイグランド株式会社 代表取締役	
後藤 満	株式会社ユミコミックス 代表取締役	
神村 正樹	株式会社 BUA 代表取締役	
谷田 健一郎	株式会社フェアプライズ 代表取締役	
ピーター・フックス	立教大学観光学部 元特任教授	
松田 篤	行政書士 駿台法律経済＆ビジネス専門学校 講師	
	一般社団法人夢工房こどもの家ひだまり理事	
	NPO 法人埼玉成年後見支援センター 理事	
松葉 健	弁護士法人まつば法律事務所 代表弁護士	
南谷 勝典	公益財団法人民際センター 事務局長	
柳澤 光一	TDK (Thailand) Co., Ltd. 元工場長	
	TDK 株式会社千曲川工場 元工場長	
監事	吉田 宗一郎	公認会計士 吉田公認会計士事務所 所長
評議員	浅見 靖仁	法政大学 法学部国際政治学科 教授
大島 仁志	衛藤 真規	株式会社サイタコーディネーション 代表取締役
小笠原 耕司	キリンビール株式会社 元常務執行役員	
加藤 隆久	キリンホールディングス株式会社 元常勤監査役	
酒井 順子	日本KTCホールディングス株式会社 監査等委員取締役	
真田 正明	公益財団法人三菱商事復興支援財団 理事	
行方 一正	建築家 加藤隆久都市建築事務所 代表取締役	
股野 尚子	作家(エッセイスト)	
山下 大	朝日新聞社 元論説委員	情報印刷株式会社 代表取締役社長
	弁護士 小笠原六川国際総合法律事務所 代表取締役	
	放送作家 劇作家 エッセイスト	株式会社エイチ・アイ・エス 元取締役相談役
	一般社団法人 日本放送作家協会 理事長	一般社団法人 日本放送作家協会 理事長

五十音順、敬称略



民際センターの クラウドファンディングサイト リリース



民際センターの職員による自作の寄付型の「クラウドファンディングサイト」を2021年6月25日にスタートしました。

これまで民際センターが取り組んできた子どもたちの教育環境を整える女子寮やトイレを建設するプロジェクトは、建設費用が高額であるため、お一人では金額的なハードルが高く、皆様の支援してみたいという想いや、現地の要望はあっても実現することがなかなか難しいこともありました。しかし今回クラウドファンディングとして多くの人々に呼び掛けることで、賛同いただけた方々からの支援で、1つの大きなプロジェクトを実現できるようになりました。より多くの皆さんに、未来を担う子どもたちを支えていただければと願っています。

なぜ自作なのか

通常クラウドファンディングのプラットフォームを利用する場合、15%程度の利用手数料が発生します。しかし、民際センターではその経費を削減し、賛同者からいただいた寄付金をより多くトイレや寮の建設費の支援に充當するため、クラウドファンディングサイトを自作することにしました。

特徴は

1. 税制優遇



これまでのご支援同様、寄付金は税制上の優遇措置を受けることができます。

2. 生徒からの手紙など



各国の現地事業所と密に連携をはかり、生徒からの手紙のほか、学校からの感謝状、ネームプレートの設置などの民際センターならではのリターンを用意しています。

3. ご寄付を有効活用



独自にサイトを自作するなど手数料のコスト削減をしているため、より多くの寄付金を支援に充てることができます。また、現地スタッフにより自立運営された現地事業所を各国に設置しているため、最も支援を必要としている寄付先を調査・選定して支援することができます。

支援できるプロジェクトは

下記のカンボジアの3つのプロジェクトです。

女子寮建設プロジェクト

www.minsai.org/cf_girls_dormitory

学校トイレ建設プロジェクト

www.minsai.org/cf_toilet_prj

ウォータープロジェクト

www.minsai.org/cf_water_prj

民際センターの クラウドファンディングサイトは こちらから

www.minsai.org/CF



民際センターについて 寄付金贈呈について

1人の力は小さくない

民際センターの
クラウドファンディング

みんなで力を合わせてプロジェクトを実現しよう！

そもそもクラウドファンディングって何？

民際センターは、1978年創立以来、経済的に厳しい東南アジアの子どもたちに教育支援を行っており日本生まれの国際NGO。貧困層と平均層を問わず、広く約42万人の東南アジアの子どもたちに教育支援の面倒を擔して教育支援を実現してきました。30年以上の歴史の中で、多くの学校や子どもたちを慕わり、学校の施設整備と教育充実が子どもたちにとってどれほど重要かが改めてきました。ただ、施設整備やトイレ設備といった基础设施プロジェクトは決して楽観主義ではありません。なぜよりも多くの資源の力が莫大にかかるからです。また、寄付金を貰う子どもたちを支援するプロジェクトを実現でなければと思います。クラウドファンディングを行うことで決然としました。

なぜ、民際センターがクラウドファンディングを行うのか？

民際センターは、1978年創立以来、経済的に厳しい東南アジアの子どもたちに教育支援を行っており日本生まれの国際NGO。貧困層と平均層を問わず、広く約42万人の東南アジアの子どもたちに教育支援の面倒を擔して教育支援を実現してきました。30年以上の歴史の中で、多くの学校や子どもたちを慕わり、学校の施設整備と教育充実が子どもたちにとってどれほど重要かが改めてきました。ただ、施設整備やトイレ設備といった基础设施プロジェクトは決して楽観主義ではありません。なぜよりも多くの資源の力が莫大にかかるからです。また、寄付金を貰う子どもたちを支援するプロジェクトを実現でなければと思います。クラウドファンディングを行うことで決然としました。

プロジェクト一覧

カンボジアの学校に女子寮を建らう！

カンボジア女子寮建設プロジェクト

たくさんの寄付をうながすために、学校の施設内に寄付を設けます

0,000,000円 0,000,000円

0,000名 0,000名

このプロジェクトを実現する

カンボジアの学校にトイレを建らう！

カンボジア 学校トイレ建設プロジェクト

現地をトイレで安心して教育を受けられる環境を実現したい

0,000,000円 0,000,000円

0,000名 0,000名

このプロジェクトを実現する

ウォータープロジェクト

2021年6月25日、クラウドファンディングと共に新たな事業が始まりました。

カンボジアの学校へ、その環境に応じて地下水を汲み上げる井戸や雨水を貯めるタンクなどを設置する「ウォータープロジェクト」です。女子寮建設、トイレ建設に続くカンボジアの新しい建設事業になります。

ウォータープロジェクトとは

カンボジアの教育統計によると、国内の約7割の学校が十分な水道設備がないという調査結果が出ています。政府もこうした事態を重要視していますが、大幅な改善はできており不衛生な水を使うことで引き起こされる下痢や細菌性の疾患が問題となり、学校内でも、生徒が自力で川や用水路などに水を汲みに行かなければならず、本来勉強をするための時間が削がれることができます。さらに、時間をかけて汲んだ水が原因で健康問題を引き起こす可能性があるのです。

こうした問題を解決するために、井戸や雨水を貯めるタンクなどを設置することがこのプロジェクトになります。

<https://www.minsai.org/activity/project/waterproject/>



学校の環境に合わせた設備

地域や学校により、水道設備の設置方法は以下の3種類に分かれます。

A：井戸

地下水源がある学校で採用します。

B：雨水の貯水タンク

地下水源がなく、学校に大きなタンクを設置できる学校で採用します。

C：雨水の貯水池

地下水源もなく、貯水タンクを置くこともできない学校で採用します。

このいづれかの方法は、皆様からのご寄付があつた際にEDFカンボジア事業所が最も設備を必要としている学校を調査し、その学校に適したものを探用いたします。

設置費用

1口500,000円

いづれの設備であっても、同額で設置が可能です。また、他の事業同様に寄付金は、所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置を受けることができます。

※物価の変動や為替変動により、金額が変更となる可能性がございます。

ご興味のある方はぜひお問い合わせください。
皆様からの温かいご支援、お待ちしております。



遺贈寄付について ～民際センターでの事例紹介～



今回は、実際にあった民際センターでの遺贈寄付の事例を紹介します。

1本の電話を、某税理士事務所からいただきました。ある方が財産の一部を寄付したいとの依頼があるので打合せをしたいとの内容でした。その方は、すでに病院におられて、ご自身の不動産を売却し、その資金の寄付を検討しているとのお話をでした。

状況が良くわからなかったので、より詳細をお聞きするため、理事長、事務局長、そして民際センターの遺贈専門委員である松葉弁護士と、その税理士事務を打合せのため訪問しました。内容は、瀧谷 寿代様という方が、ご病気であること、財産の寄付を考えている事、特に、民際センターへは、お住まいだった不動産を売却し、その資金を寄付したいとのご意向をお伺いしました。すでに、ホスピスにご入院されているため、お会いすることはもはやできないとのことでした。その場で、事務所に連絡し、1995年から10年ほどダルニー奨学金をご支援いただいた民際センターの元支援者であったことが確認できました。ご自身の生きた証に、東南アジアの学校に通えない子どもたちのために、財産を信頼できるNGOに託したいとのお考えでした。寄付後の用途については、民際センターに一任することでしたので、後日、当時まだ支援数が多くなかった、EDF-ベトナム(ベトナム事業所)と相談の上、基金を取り崩しながら奨学金を毎年提供し、そして奨学生たちは同期会、同窓会を結成する。大人になり余裕ができたら、その基金に寄付し、奨学金を次世代に提供する「輪廻奨学金」の概念を提案しました。その話を聞

いた、ベトナムの学校から、「奇跡が起こり健康の回復を祈願します」と生徒たちの言葉と千羽鶴が、病院に届けられました。瀧谷様のご意向で、貧困家庭に生まれ育った子どもたちが、人生に希望をもって生きてもらいたいという願いを込めて、その基金をHope Fund(希望奨学金基金)と命名しました。



その年の12月29日、瀧谷寿代様はご永眠されました。

2021年夏現在、624名のベトナムの子どもたち、70名のラオスの子どもたちに延べ1,694口の奨学金を提供し続けています。来年も再来年も同様に奨学金を提供していきます。

2021年には最初の奨学生170名が中学を卒業します。ご命日である12月29日には、星にむかって感謝の気持ちを伝えているそうです。

瀧谷様のHope Fundによる奨学生から、今は亡き瀧谷様へのお手紙がたくさん届きます。今回は2名の女の子からのお手紙を紹介します。

Dear Doctor and co-founder of the Hope Fund. I am Nguyen Thi Lam. Student of class 9C from really poor family. I would like to thank you for your gift. For me, this is truly a wonderful opportunity and also a great spiritual strength to help me overcome all difficulties in life.

During living the difficult days, my heart was deeply touched by your love and concern, at the first glimpse. On the very day, about half month ago, the last night, when you go many miles distance, why it's a difficult going. And then our teacher who worked in Camp only visited, and teacher's age will take away with you. Teacher and goodness, became my motivation to the next school year. You like you and care for us especially on the classroom, room, a teacher, like, teacher, an engagement from the school, especially she is more important to the students. Although, teacher is a young just 20 years old, she will give you love and good education to us and give us very nice and good gift.

I am very touched and grateful to you so much. The school will help me success. We never thinking help me to live in myself in the future ahead of me. I will always bring my best to study and work hard, not to let you down. Thank you so much for your support to me.

Finally, I would like to say my best wishes to all the members in the school and you are the best, necessary organization. Thank you so much for your love and care. Teacher and necessary organization the students had enough hope in life.

I sincerely thank you.

天国からの贈り物 いつもあなたを身近に感じています

ベトナム奨学生
からのメッセージ



グエン・ティ・ドアンさん

親愛なる 濵谷 寿代様へ

こんにちは。初めてまして。私は、グエン・ティ・ドアンと申します。昨年からあなたに残していただいたダルニー奨学金を受けて中学校に通っています。支援を受けて学校に通うことができ、とても幸せです。あなたからのご支援は、教材や制服だけに止まらず、私の心の支え、そして拠り所になっています。遠い日本に私のことを応援してくださっている方がいると考えるととても元気が出で、すべての困難を乗り越えていけるような気持ちになるのです。

奨学金をもらっていたいなかった頃のことを思い出すと、とてもつらくなります。制服や一冊の教科書が欲しいと思っても、私の家庭は貧しく、それはかないませんでした。しかし、ご支援のおかげで進学が可能となり参加した入学式には、同じ年のお友だちがたくさんいて、一緒に勉強ができると思うととても幸せな気持ちになりました。

「私の将来には希望がない」と思っていた日々がうそのようです。運良く学校に入学できても、家計の一部を支えるため、学校を中途退学しなくてはならないのではないかと不安に思っていたのです。でも、奨学金を頂いて私の心配は遠くへ消え去ってしまいました。奨学生は、皆貧しい家庭の出身ですが、今は、支援を受け学校へ通い、先生に励まされ、親身になってくれるお友だちと出会うことができています。ベトナムの経済的に恵まれない子どもたちにお心を寄せていただいたこれらご支援は、私たちにとってとても意味深い贈り物です。

私はあなた様のご厚意に心から感謝しています。奨学金は、私だけでなく家族も助け、皆、私の未来に希望を持つことができています。頑張って勉強し、社会に貢献できる立派な大人になることが、あなたの希望に寄り添い、そして私を信じてくれる人たちの恩に報いることになると思っています。

最後になりますが、私たちのような貧しく教育の機会がなかった子どもたちに救いの手を差し伸べてくださって本当にありがとうございました。これからも私たちを見守っていてください。

レ・ティ・トラ・トラムさん

天国にいる濱谷様へ

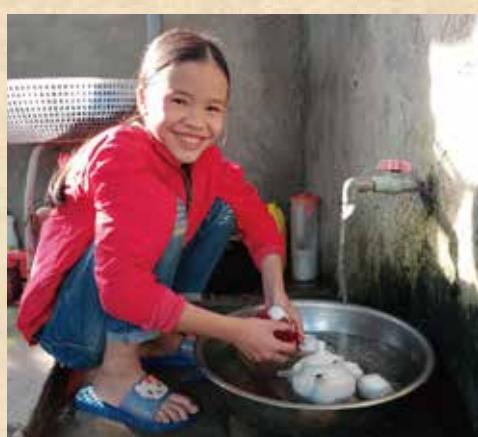
私はレ・ティ・トラ・トラム、タイビン省ティエンハイ郡レラング中学校の1年生です。ダルニー奨学金を昨年からいただいています。

あなたは、すでにお亡くなりになっていると聞きました。直接お礼を言うことができずとても残念ですが、私の声が天国にいるあなたに聞こえているととても嬉しいです。人生の最期の時に、ご自身の財産を私たちベトナムの貧しい女子生徒たちの教育支援に使いたいと民際センターにご連絡をいただいたという話を聞き、本当に感動して涙が止まりませんでした。あなたは、そばにいていつも私たちを見守ってくださっていると信じています。

改めまして、あなたのやさしさと私たちにいただいたご支援に心から御礼申し上げます。私は、学年末の試験で良い成績をおさめることができました。来年も、このように良い報告ができるように頑張ります。

この機会に、英語でお手紙を書くことができ本当に嬉しいです。英語ができるようになったのは、あなたのご支援で学校に通い、授業を受けることができたからです。これからも頑張って勉強します。

本当にありがとうございました。



連載 メコン5カ国
現地スタッフ紹介
Vol.3

メコン5カ国にある、EDFの各国事業所。そこで働く私たちの大切な仲間であり、皆様からいただいたご支援を、心をこめて子どもたちに届ける現地スタッフを紹介しています。今回は、タイの事業所で勤務する二人を紹介します。

プロイ

私はPloypassorn Poolsawatです。プロイと呼ばれています。趣味は料理、家庭菜園、運動です。1997年からEDF-Thai(タイ事業所)で働き、20年以上が経ちます。事業所の発展、飛躍を当初からスタッフ皆で努力し、見届けてきたことが私の誇りと喜びです。現在、経営管理部の管理責任者であり、経理、人事、総務を行っています。

仕事で支援地域の学校を訪問する時、貧しい子どもたちが教室で好奇心いっぱいに、同級生たちと新しい発見をしては喜びに満たされている姿見ることがいつも大きな喜びです。また、少ないお弁当を子どもたちは分け合い、絶えず他の子を思いやる姿を見る時、他者を愛し親切に寛容に接することは、学習の中で最も大切なことを思われます。

職場では、普段からコミュニケーションを密に取り合い、良い時は笑顔と笑い声であふれ、大変な時は団結してお互いを助け合います。私たちの仕事に向かう姿勢の基盤には、団結心と親切、そして喜びがあり、だからこそいつ問題が起こったとしても、すばやくそして手際よく問題に対処することができると思います。私にとってEDFは家族であり、我が家です。

チャート



私はAnuchat Khongma です。チャートと呼ばれています。趣味は読書、バドミントン、地方に遊びに行って地元の人たちと交流しながらのんびりすることです。

日本での留学を2004年に終え、帰国後にEDF-Thai(タイ事業所)の日本語コーディネーターの募集を見たのがきっかけで働き始めました。最初の仕事は、日本から来る研修旅行者のお世話をすることでした。タイ東北地方の学校と村で行う交流会や奨学金授与式の通訳、司会などが主な任務でした。その中で首都での日常生活の中では触れることが出来ない貧困家庭の問題を勉強することができ、タイには支援が届いていない部分がまだ多くあると再認識することができました。入職してから15年が経ち、現在はバンコクを中心に募金活動と広報活動を担当しています。

これまで沢山のタイ人にも日本人にも「教育は人を築く」という私たちの理念を聞いていただくことができています。
最後に感謝の気持ちを込めてお伝えしたいことがあります。これまでお会いした多くの日本人に言われた「タイで仕事をさせてもらったのでタイには恩返しとして何か残していくたい」という優しいことばに、私はとても感動しています。皆様のご支援は、タイの恵まれない子どもたちの人生を変える本当に貴重な贈りものです。



今は昔 民際センター物語



民際センターの設立者である理事長の秋尾晃正が、設立当初からの歴史を振り返って執筆する連載。今回はゆるやかな時間が流れるタイのお話です。

タイ時間

タイ人スタッフとの初会議

民際センターの活動2年目の事である。当時タイのウドンタニ県で活動しており、スタッフは3名で事業所はなかった。ある時、夜タイに到着し、当時事務局長であったオイさんと夕食を伴にし、明朝9時より私の滞在するホテルのバンケットルームを予約し、会議をすることとなった。私は早々に朝食を終えて、9時前には会議の次第も整え、準備万端整えた。だが9時を過ぎても誰も来ない。最初に来たオイさんで10時。小生は怒り、時間厳守の必要性を説き、文句を言う。次に来た人は11時。幾らか心が静まり、時間を守ることを促す。最後に来た人は12時。「よく、忘れずに来ましたね。」と感謝の念。

どのように改善すればよいか、課題として取り組む。次回から、会議の議題を3名で相談して作成させ、討議すべき重要案件順に若い番号を付けさせ、それから会議を行い、かつ個々の案件にどのくらいの時間をかけるべきか、自分たちで討議して作成してもらった。次回からの会議は時間通りに始まった。以来、タイ事業所の会議はタイ時間でなく、予定時間で始まるようになった。

タイ人スタッフと初現地調査

中学就学の課題調査のため、オイさんとある村を訪問した。奨学金の給付を受けた家庭訪問後、学校を訪問することになった。村の入り口で、オイさんは「Wait a minute at here」と言われたので、同行しないでそこで待つことにした。

ともに英語は母語でないので、信頼の上に単語を見つけて意思疎通する。5分ぐらい待つのだろうと想定した。だが1時間を待っても帰ってこない。怒り心頭である。携帯した飲み水もなく喉が渴き、その場所を離れて、水を探すか否か迷う。とりあえず日陰で寝ころび、省エネで待つことにする。しかし2時間過ぎても、戻ってこない。何か問題が起り、私を迎えて来られなくなったのかもしれない。私は自分で町のホテルまで戻らなくてはならないかもしれませんと心配しだす。一体全体、自分はどこにいるのか想像もつかない。ただオイさんに付いてきただけなので。3時間過ぎた頃、遠くに人影が見えた。オイさんがとぼとぼ歩いて戻ってきた。私の心理は戻ってきてくれて「ありがとう」という気持ちになり、にこにこして迎えた。



1 「マイ・ページ」をご利用ください

マイ・ページは、支援者様と奨学生、そして民際センターとのコミュニケーションを劇的に向上させるためのツールです。ご利用いただくことで、今までメールやお電話にて都度ご依頼をいただいていた支援者様の住所、電話番号、領収書発行先などの登録情報の変更が、ご自身で可能になります。

また、年に2回のEDFグループからの郵送物でしか確認することができなかった支援履歴、支援状況表、奨学生写真などを、PCまたはスマートフォン、タブレットから確認することができます。未登録の方は是非とも、ご利用ください。

◎ ご登録方法について
www.minsai.org/oshirase/mypage

3 民際センターを紹介してください

皆様のブログ、SNS、ホームページなどで民際センターを紹介してください。ロゴや写真、記事の提供などは事務局へご依頼ください。

事務局 Q & A

Q 忘れずに支援するためには どのような方法がありますか？

A クレジットカードによる寄付にて自動継続による引き落としをご選択ください。

Q 友人が「ダルニー奨学金の寄付を始めてみたい」と言っています。詳しい説明を聞くことができますか？

A お電話やメールでお問い合わせください。また、事前にご連絡をいただけましたら、オンライン会議システムなどにより職員が直接ご説明いたします。

Q 終活と一緒に考えてください

A 相続による寄付、遺言書の書き方などの遺贈について、ご支援者様のご要望をお聞きしながら、専門家を交え一緒に考えさせていただきます。遺贈寄付のお悩み、ご質問にワンストップでお答えします。是非ご相談ください。

2 ボランティアさん募集中

民際センターの活動は、多くのボランティアさんに支えられています。

募集する活動内容は、書類封入、切手整理、データ入力、翻訳、広報資料作成などのボランティア活動があります。活動場所は、民際センター事務局やご自宅など、活動内容によって異なります。

現在、アドビ・イラストレーターを用いて広報資料（チラシやパンフレット）をデザインしていただく方が必要です。基本在宅での作業となります。ご興味のある方は、民際センターまでお問い合わせください。

4 「支援者の声」を募集しています

皆様の声を民際センターのホームページ「支援者の声」(www.minsai.org/activity/voice) やダルニー通信などで紹介させてください。ご支援された経緯、奨学生とのエピソードなど、文章、動画、何でも結構です。事務局までお寄せください。

Q コロナが終息した後、支援している奨学生に会いに行くことはできますか？

A 基本的に可能ですが、各国の状況によります。訪問される場合は、必ず事前に民際センターにご連絡ください。現地事業所から各国の政府機関に申請し、許可が必要な場合があります。

Q 民際センターは、メコン5カ国を支援していますが、どの国を支援して良いのかわかりません。
どの国が一番支援を必要としていますか？

A 民際センターが支援しているメコン5カ国の農村地域などはいずれも貧しく支援を必要としています。毎年の支援状況により国毎に不足の程度が変わりますので、その都度お問い合わせください。もしくは、ご支援の際に「一番支援が必要な国」とご明記ください。

【編集後記】 世界的な新型コロナウイルスの感染拡大と共に、ミャンマーやアフガニスタンでの問題や、水害、山火事、地震など自然災害も世界中で増え、激動の時代を迎えていました。民際センターとして世界の平和構築のために何ができるかを日々考えながら活動していますが、個人レベルでも今何をすべきか、何ができるかを考えさせられます。周りの方々を大切にしたいと共に、離れた場所で苦しんでいる方々の心にも寄り添えるような心を持ち、たとえ小さな一步でも踏み出せる人でありたいと思います。（米）



-----活動をご覧いただけます-----

- ◆ フェイスブック : facebook.com/minsai.org
- ◆ ツイッター : twitter.com/minsaiorg
- ◆ インスタグラム : instagram.com/edf_japan

-----郵便振替でのご支援はこちらからお願いします-----

ゆうちょ銀行振替口座 : 00160-7-664928

◆ 表紙の写真 …お手伝い中のタイの女の子

▶ 「ダルニー」とは…民際センターが奨学金を募り1対1の教育支援を始めるきっかけとなったタイの女の子の名前。現在、民際センター・タイ事業所の職員として働く、4児の母。

*EDF : The Education for Development Foundation、民際センターを含む各国事業所の総称名

このダルニー通信は2021年10月に編集されました。

ダルニー通信89号 2021年12月1日発行 発行人：秋尾晃正

公益財団法人 民際センター

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-6-13 山三ビル7F
TEL : 03-6457-5782 FAX : 03-6457-5783
Eメール : info@minsai.org ホームページ : www.minsai.org

